| 科目名: 国語 1a<br>英文名: Japanese 1a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 大内清司 松下篤生 岡本美智子 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「漢文の海へ」
[予習内容]:本文を読み分からない箇所を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 2週 「訓読のきまり」「格言」
[予習内容]:漢字クリア第 28 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第 3週 「助長」「漁夫の利」
[予習内容]:本文を読み、分からない語彙を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 4週 「虎の威を借る狐」
[予習内容]:漢字クリア第 29 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 5週 「語感トレーニング」中村明
[予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 6週 「語感トレーニング」中村明
[予習内容]:漢字クリア第 30 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第 7週 「語感トレーニング」中村明
[予習内容]:本文を読み、印象を書きとめておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 8週 「第1週から 7 週までの総復習」
中間試験とその復習・フィードバックを実施

第 9週 「古文に親しもう」
[予習内容]:本文を読み、分からない語彙を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第10週 「宇治拾遺物語 児のそら寝」
[予習内容]:漢字クリア第 31 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第11週 「宇治拾遺物語 検非違使忠明」
[予習内容]:本文を読み、分からない語彙を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第12週 「滅びるものは滅びるままに」東野圭吾
[予習内容]:漢字クリア第 32 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第13週 「滅びるものは滅びるままに」東野圭吾
[予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第14週 「滅びるものは滅びるままに」東野圭吾
[予習内容]:漢字クリア第 40 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第15週 「第 9 週から 14 週までの総復習」
[予習内容]:これまでの学習項目の質問点を整理する(60 分)
[復習内容]:出された質問点の考察内容を復習する(30 分)

定期試験
期末試験とその復習・フィードバックを実施
(試験時間各 50 分)

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
国語を的確に理解し、適切に表現する能力を育成し、コミュニケーション能力の向上を目指します。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (D-G1)(E-G1)文章の組み立て、語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。
2. (D-G1)(E-G1)論理的に考え、説得力を持って提示する書き方を理解する。
3. (D-G1)(E-G1)日本漢字能力検定 4 級程度の常用漢字の読み書き能力を持つ。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD、Eの達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験の後に、出題問題について一緒に考え復習をすることでフィードバックを行なう。漢字小テストの場合も間違いの傾向を整理して提示する。

■教科書
『新編国語総合』数研出版

■参考文献
教科書準拠の学習課題集、『常用漢字クリア(五訂版)』尚文出版

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回)・小テスト・課題,
方式: 記述式
定期考査成績:定期試験(50%)、小テスト(30%)、ノート課題・学習課題ノート内の問題(20%)として評価します。 ただし夏休みの課題は提出必須であり、未提出の場合は成績が付きません。
定期試験は中間・期末の 2 回。
最終成績: 定期考査成績の平均点とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
漢字学習、教科書準拠の学習課題集を使用した予習・復習
漢字小テストの実施や教科書準拠の学習課題集を使用した学習項目のまとめを授業で行い、予習復習の確認をする。
10月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
大内:本館 1 階保健管理センター、松下:本館 2 階寮務部
岡本:2号館2階共通教育科教員室

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
大内 :oouchi@ktc.ac.jp、松下:a-matsushita@ktc.ac.jp
岡本:mokamoto@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
大内:月曜日(12:15～13:00)、松下:火曜日(12:15～13:00)
岡本:木曜日(15:30～16:15)

| 科目名: 国語 1b<br>英文名: Japanese 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 大内清司 松下篤生 岡本美智子 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「水の東西」 山崎正和
[予習内容]:本文を読み、わからない語彙を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 2週 「水の東西」 山崎正和
[予習内容]:漢字クリア第33回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 3週 「水の東西」 山崎正和
[予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 4週 『「差」という情報』 佐藤雅彦
[予習内容]:漢字クリア第34回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第 5週 『「差」という情報』 佐藤雅彦
[予習内容]:本文を読み、わからない語彙を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 6週 『「差」という情報』 佐藤雅彦
[予習内容]:漢字クリア第35回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 7週 漢字の成り立ち・熟語の構成
[予習内容]:プリントを読み分からない語彙を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第 8週 「第1週から 7 週までの総復習」
中間試験とその復習・フィードバック実施

第 9週 「コインは円形か」 佐藤信夫
[予習内容]:本文を読み、わからない語彙を調べておく(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第10週 「コインは円形か」 佐藤信夫
[予習内容]:漢字クリア第36回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第11週 「コインは円形か」 佐藤信夫
[予習内容]:全文を読みタイトルの表す意味を考察する(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第12週 「『わらしべ長者』の経済学」 梶井厚志
[予習内容]:本文を読み、わからない語彙を調べておく
漢字クリア p82-83 の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第13週 「『わらしべ長者』の経済学」 梶井厚志
[予習内容]:段落ごとの関連性を考察しておく(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第14週 「『わらしべ長者』の経済学」 梶井厚志
[予習内容]:漢字クリア p132-133 の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノートの整理をする(30 分)

第15週 「第 9 週から 14 週までの総復習」
[予習内容]:これまでの学習項目の質問点を整理する(60 分)
[復習内容]:出された質問点の考察内容を復習しておく(30 分)

定期試験
期末試験とその復習・フィードバックを実施
(試験時間各 50 分)

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
国語を的確に理解し、適切に表現する能力を育成し、コミュニケーション能力の向上を目指します。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (D-G1)(E-G1)文章の組み立て、語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。
2. (D-G1)(E-G1)論理的に考え、説得力を持って提示する書き方を理解する。
3. (D-G1)(E-G1)日本漢字能力検定 4 級程度の常用漢字の読み書き能力を持つ。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD、E の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験の後に、出題問題について一緒に考え復習をすることでフィードバックを行なう。漢字小テストの場合も間違いの傾向を整理して提示する。

■教科書
『新編国語総合』 数研出版

■参考文献
教科書準拠の学習課題集、『常用漢字クリア(五訂版)』尚文出版

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回)・小テスト・課題,
方式: 記述式
定期考査成績:定期試験(50%)、小テスト(30%)、ノート課題・学習課題ノート内の問題(20%)として評価します。 ただし夏休みの課題は提出必須であり、未提出の場合は成績が付きません。
定期試験は中間・期末の 2 回。
最終成績: 定期考査成績の平均点とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
漢字学習、教科書準拠の学習課題集を使用した予習・復習
漢字小テストの実施や教科書準拠の学習課題集を使用した学習項目のまとめを授業で行い、予習復習の確認をする。
2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
大内:本館 1 階保健管理センター、松下:本館 2 階寮務部
岡本:2号館2階共通教育科教員室

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
大内 :oouchi@ktc.ac.jp, 松下:a-matsushita@ktc.ac.jp
岡本:mokamoto@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
大内:月曜日(12:15～13:00)、松下:火曜日(12:15～13:00)
岡本:木曜日(15:30～16:15)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **英語 1a**<br>英文名: English 1a | | | |
| 担当者: 上田透 松山文彦 藤川雅行<br>花巻昌子 奈須健 オルダネス・ジュームズ | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:担当者によって異なる | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当無し | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当無し | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 3 | 授業形態: 講義<br>習熟度別クラス編成 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 Lesson 1: Let's See the World Part1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 2週 Lesson 1: Let's See the World Part2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 3週 Lesson 1: Let's See the World Part3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 4週 Lesson 2: Bread Culture in Japan Part1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 5週 Lesson 2: Bread Culture in Japan Part2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 6週 Lesson 2: Bread Culture in Japan Part3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 7週 Lesson 3: Why Do Cats Purr? Part1-2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 8週 第 1 週～第 7 週までに学んだことについて総復習。中間試験。<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 9週 答案返却・解答。Lesson 3: Bread Culture in Japan Part3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第10週 Lesson 4: The Power of Anime Part1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第11週 Lesson 4: The Power of Anime Part2-3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第12週 Lesson 5: Projects with a Difference Part1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第13週 Lesson 5: Projects with a Difference Part2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第14週 Lesson 5: Projects with a Difference Part3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:30(分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第15週 Lesson 6: We Are the World Part1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>定期試験 第 9 週～第 15 週までの内容について筆記試験を行う。<br>(試験時間 50 分) | ■授業概要・方法等<br>英語コミュニケーション能力の基礎作りを行います。基本的に授業は教科書に沿って進み、日々の課題や提出物、小テストなどをこなしながら、英語を読む、書く、聞く、話す訓練を総合的に行います。週 5 時間の授業のうち 1 時間はネイティブ教員が担当してオールイングリッシュで授業を行い、英会話能力の向上に努めます。習熟度に応じ、全学年が 5 クラスに分かれます。<br>■使用言語 日本語・英語<br><br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (E-G2) 教科書に出てきた単熟語、英文法、構文を習得する。<br>2. (E-G2) 読む, 書く、聞く、話す活動を通じ、教科書の内容を理解する。<br>3. (E-G2) 英語や英語圏の文化について興味を持つ。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー E の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行います。課題は基本的に提出した次の授業時に回収して、添削・採点の上、間違いが多い点や重要な点などを解説します。<br>■教科書<br>NEW ONE WORLD 教育出版<br>(ISBN 978-4-316-20341-6)<br>NEW ONE WORLD Communication ワークブック 教育出版<br>(ISBN 978-4-316-40931-3)<br>■参考文献<br>紙 or 電子辞書で、自分の使いやすい辞書を一冊用意し、普段から分からない単語を調べることを習慣にする。<br>■関連科目<br>英語演習1、TOEIC プラス。他に、英語 2～4、英語演習 2～4.<br>■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回), 方式: 記述式<br>定期試験共通テスト 70%、小テスト＋課題 10%、Oral Communication 20% で評価します。最終成績は、2 回の定期考査成績の平均点とします。<br>最終成績:定期考査成績の平均とする。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>左記に記載した予習・復習に取り組むこと。<br>10 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>上田:本館1F 学生部、オルダネス:図書館 1F 国際交流部、奈須:本館 2F 寮務部、松山:図書館 1F カウンセリング室、花巻・藤川:2 号館 2F 共通教育科教員室<br>■授業評価アンケート実施方法<br>10 月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス 上田:ueda@ktc.ac.jp オルダネス:james@ktc.ac.jp 奈須:nasu@ktc.ac.jp 花巻:hanamaki@ktc.ac.jp 藤川:fujikawa@ktc.ac.jp 松山:matsuyama@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー 授業中、指示します。 |

| 科目名: 英語 1b<br>英文名: English 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 上田透 松山文彦 藤川雅行<br>花巻昌子 奈須健 オルダネス・ジュームズ | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:担当者によって異なる。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当無し<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当無し | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 後期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 3 | 授業形態: 講義<br>習熟度別クラス編成 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 Lesson 6: We Are the World Part 2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 2週 Lesson 6: We Are the World Part 3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 3週 Lesson 7: Learning about Science around You Part 1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 4週 Lesson 7: Learning about Science around You Part 2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 5週 Lesson 7: Learning about Science around You Part 3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 6週 Lesson 8: The Ninth Symphony in December Part 1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 7週 Lesson 8: The Ninth Symphony in December Part 2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 8週 第 1 週～第 7 週までに学んだことについて総復習。中間試験。<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第 9週 答案返却・解答。Lesson 8: The Ninth Symphony in December Part 3.<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第10週 Lesson 9: The Spirit of the Modern Olympic Part1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第11週 Lesson 9: The Spirit of the Modern Olympic Part2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第12週 Lesson 9: The Spirit of the Modern Olympic Part3-4<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第13週 Lesson 10: What Is Globalization Part1<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第14週 Lesson 10: What Is Globalization Part2<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>第15週 Lesson 10: What Is Globalization Part3<br>[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。<br>[復習内容]:(30 分)教科書やノートを再読し、理解を深める。<br>定期試験 第 9 週～第 15 週までの内容について筆記試験を行う。<br>(試験時間 50 分) | ■授業概要・方法等<br>英語コミュニケーション能力の基礎作りを行います。基本的に授業は教科書に沿って進み、日々の課題や提出物、小テストなどをこなしながら、英語を読む、書く、聞く、話す訓練を総合的に行います。週 5 時間の授業のうち 1 時間はネイティブ教員が担当してオールイングリッシュで授業を行い、英会話能力の向上に努めます。習熟度に応じ、全学年が 5 クラスに分かれます。<br>■使用言語 日本語・英語<br><br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1.(E-G2) 教科書に出てきた単熟語、英文法、構文を習得する。<br>2.(E-G2) 読む, 書く、聞く、話す活動を通じ、教科書の内容を理解する。<br>3.(E-G2) 英語や英語圏の文化について興味を持つ。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー E の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行います。課題は基本的に提出した次の授業時に回収して、添削・採点の上、間違いが多い点や重要な点などを解説します。<br>■教科書<br>NEW ONE WORLD 教育出版<br>(ISBN 978-4-316-20341-6)<br>NEW ONE WORLD Communication ワークブック 教育出版<br>(ISBN 978-4-316-40931-3)<br>■参考文献<br>紙 or 電子辞書で、自分の使いやすい辞書を一冊用意し、普段から分からない単語を調べることを習慣にする。<br>■関連科目<br>英語演習1、TOEIC プラス。他に、英語 2～4、英語演習 2～4.<br>■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回), 方式: 記述式<br>定期試験共通テスト 70%、小テスト＋課題 10%、Oral Communication 20% で評価します。最終成績は、2 回の定期考査成績の平均点とします。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>左記に記載した予習・復習に取り組むこと。<br>2 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>上田:本館1F 学生部、オルダネス:図書館 1F 国際交流部、奈須:本館 2F 寮務部、松山:図書館 1F カウンセリング室、花巻・藤川:2 号館 2F 共通教育科教員室<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2 月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス 上田:ueda@ktc.ac.jp オルダネス:james@ktc.ac.jp 奈須:nasu@ktc.ac.jp 花巻:hanamaki@ktc.ac.jp 藤川:fujikawa@ktc.ac.jp 松山:matsuyama@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー 授業中、指示します。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **基礎数学 a**<br>英文名: Fundamental Mathematics a | | | |
| 担当者: 鍬田英也 神田 毅 乗本 学<br>西口浩平 森下登志也 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:特になし | | アクティブ・ラーニングの形態:グループワーク<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング:特になし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 4 | 授業形態: 講義<br>習熟度別クラス編成 | 単位の種別: 履修 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「ガイダンス」「整式の計算」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 2週 「整式の計算」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 3週 「整式の計算, 中間単元試験」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 4週 「いろいろな数と式」
単元テスト、単元テストの答案返却、解説
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 5週 「いろいろな数と式」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 6週 「いろいろな数と式, 方程式(2 次方程式)」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 7週 「方程式(2 次方程式, 2 次方程式の解と係数の関係)」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 8週 「方程式(高次方程式, 恒等式)」
中間試験の答案返却、解説
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 9週 「方程式(恒等式, 等式の証明)」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第10週 「不等式(不等式の性質, 1 次不等式の解法, いろいろな不等式)」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第11週 「不等式(いろいろな不等式, 不等式の証明), 期末単元試験」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第12週 「集合, 命題」
単元テスト、単元テストの答案返却、解説
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第13週 「命題, 2 次関数(グラフ、最大・最小)」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第14週 「2 次関数(2 次関数と 2 次方程式、2 次不等式)」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第15週 「「2 次関数(2 次関数と 2 次方程式、2 次不等式)」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

定期試験 (中間試験) 第 4 週から 7 週までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間 50 分)
定期試験 (期末試験) 第 12 週から 15 週までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間 50 分)

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
高専 1 年生の「数学」では、中学校での授業から引き続き、数学的な考え方及び計算技術等を発展的に身に付けるようにしなければなりません。この授業では、最も基本的かつ重要な整式の計算、数の性質、関数の概念等を学習します。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (A-G1)それぞれの語句の意味を理解する。
2. (A-G1)それぞれの基本的計算をする。
3. (A-G1)それぞれの簡単な応用問題を解く。
4. (A-G1)それぞれの高度な応用問題を解く。
ことができるようになります。習熟度 S クラスは 1～4、A1、A2 クラスは 1～3、A3、B クラス 1～2 を達成目標とします。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。

■教科書
「新 基礎数学」 大日本図書, 2011, ISBN978-4-477-02579-7
「新 基礎数学 問題集」 大日本図書, 2012, ISBN978-4-477-02580-3
各担当者が作成するプリント

■参考文献 なし

■関連科目
物理学、各専門科目

■成績評価方法および基準
種類: 単元テスト(2 回)、定期試験(2 回)
方式: 記述式
定期考査成績: 単元テスト、定期試験、課題・レポート・小テストを総合して評価します。
S クラス: 単元テスト、定期試験 60%、課題等 40%
A1 クラス: 単元テスト、定期試験 70%、課題等 30%
A2 クラス: 単元テスト、定期試験 80%、課題等 20%
A3、B クラス: 単元テスト、定期試験 90%、課題等 10%
最終成績: 2 回の定期考査成績の平均とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:
各講義で指示された課題に取り組み, 結果を担当者が確認します。
10 月に学修時間に関する調査を実施します

■教員所在場所
鍬田英也:本館 1 階学生部、神田毅:図書館 2 階学習指導室、
乗本学:2 号館 2 階共通教育科、西口浩平:本館 1 階学生部、
森下登志也:2 号館 2 階共通教育科

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
鍬田英也:kuwata@ktc.ac.jp、神田毅:kanda@ktc.ac.jp、
乗本学:norimoto@ktc.ac.jp、西口浩平:k.nishiguchi@ktc.ac.jp、
森下登志也:t-morishita@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
月・金 12:45～13:25

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **基礎数学 b**<br>英文名: Fundamental Mathematics b | | | |
| 担当者: 鍬田英也 神田 毅 乗本 学<br>西口浩平 森下登志也 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:特になし | | アクティブ・ラーニングの形態:グループワーク<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング:特になし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 後期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 4 | 授業形態: 講義<br>習熟度別クラス編成 | 単位の種別: 履修 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「ガイダンス」「いろいろな関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 2週 「指数関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 3週 「指数関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 4週 「指数関数, 中間単元試験」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 5週 単元テスト、単元テストの答案返却、解説
「対数関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 6週 「対数関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 7週 「対数関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 8週 中間試験の答案返却、解説
「三角比とその応用」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第 9週 「三角比とその応用」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第10週 「三角比とその応用」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第11週 「三角比とその応用」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第12週 単元テスト、単元テストの答案返却、解説
「三角関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第13週 「三角関数」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第14週 「加法定理とその応用」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

第15週 「加法定理とその応用」
[予習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の前週までの部分
[復習内容]: 「新 基礎数学 問題集」の今週の部分、プリント

定期試験 (中間試験) 第 5 週から 8 週までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間 50 分)
定期試験 (期末試験) 第 8 週から 15 週までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間 50 分)

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
高専 1 年生の「数学」では、中学校での授業から引き続き、数学的な考え方及び計算技術等を発展的に身に付けるようにしなければなりません。この授業では、様々な関数、図形と式の関係等を学習します。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (A-G1)それぞれの語句の意味を理解する。
2. (A-G1)それぞれの基本的計算をする。
3. (A-G1)それぞれの簡単な応用問題を解く。
4. (A-G1)それぞれの高度な応用問題を解く。
ことができるようになります。習熟度 S クラスは 1～4、A1、A2 クラスは 1～3、A3、B クラス 1～2 を達成目標とします。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。

■教科書
「新 基礎数学」 大日本図書, 2011, ISBN978-4-477-02579-7
「新 基礎数学 問題集」 大日本図書, 2012, ISBN978-4-477-02580-3
各担当者が作成するプリント

■参考文献
なし

■関連科目
物理学、各専門科目

■成績評価方法および基準
種類: 単元テスト(2 回)、定期試験(2 回)
方式: 記述式
定期考査成績: 単元テスト、定期試験、課題・レポート・小テストを総合して評価します。
S クラス: 単元テスト、定期試験 60%、課題等 40%
A1 クラス: 単元テスト、定期試験 70%、課題等 30%
A2 クラス: 単元テスト、定期試験 80%、課題等 20%
A3、B クラス: 単元テスト、定期試験 90%、課題等 10%
最終成績: 2 回の定期考査成績の平均とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:
各講義で指示された課題に取り組み, 結果を担当者が確認します。
2 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
鍬田英也:本館 1 階学生部、神田毅:図書館 2 階学習指導室、
乗本学:2 号館 2 階共通教育科、西口浩平:本館 1 階学生部、
森下登志也:2 号館 2 階共通教育科

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
鍬田英也:kuwata@ktc.ac.jp、神田毅:kanda@ktc.ac.jp、
乗本学:norimoto@ktc.ac.jp、西口浩平:k.nishiguchi@ktc.ac.jp、
森下登志也:t-morishita@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
月・金 12:45～13:25

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **化学1a**<br>英文名: Chemistry 1a | | | |
| 担当者: 西田 孝昌 | | 開講年度: 2021年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

**授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)**

「授業タイトル」

第 1週 「ガイダンス(シラバスの説明)」

第 2週 「第 1 章 物質の構成と結合 1.1 物質とは何か(1.1.1 物質の分類, 1.1.2 物質の変化)」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 3週 「1.1.3 元素と元素記号, 1.1.4 原子・分子・イオン」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 4週 「1.2.1 原子の構造, 1.2.2 イオンの形成」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 5週 「1.2.3 元素の周期表, 1.2.4 放射性元素」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 6週 「1.3.1 イオン結合, 1.3.2 分子をつくる結合」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 7週 「1.3.3 電気陰性度, 1.3.4 金属結合」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 8週 「答案返却・解答, 1.4.1 原子量・分子量・式量」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 9週 「1.4.2 物質量(1)」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第10週 「1.4.2 物質量(2)」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第11週 「1.4.3 化学反応式における量的関係(1)」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第12週 「1.4.3 化学反応式における量的関係(2)」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第13週 「1.4.3 化学反応式における量的関係(3)」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第14週 「第 2 章 物質の状態 2.1 物質の三態(2.1.1 固体・液体・気体, 2.1.2 三態間の変化)」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第15週 「試験前演習」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

定期試験
第 1 から 15 週までの講義内容について、中間、期末の 2 回にわたり筆記試験を行う。
試験時間(各 50 分)

**授 業 概 要**

■授業概要・方法等
中学からの理科の流れをくみ, 化学法則の理解に必要不可欠な原子, 分子, 電子などの基礎的な概念の習熟に努め, それに派生する諸現象について実例を交えながら教授し, 深い理解に努めます。化学 1a は, 授業だけの学習時間では習熟が難しい科目であります。補助教材を用いての自宅学習が必須であり, 学生諸君が自ら意欲的に反復学習することが求められます。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は, この授業を履修することによって,
1. (A-G1)(D-G1)水素, 酸素の元素記号が書ける。また, 氷が溶けて水になる変化を融解と言うことを理解する。
2. (A-G1)(D-G1)鉛筆 1 ダースが 12 本であること。また, 原子・分子 1 モルが $6.0\times10^{23}$ 個であることを理解する。
ことができるようになります。
この科目の履修は, 本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー A、D の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行う。課題は次の授業時に回収し, チェックを行う。Google Classroom による課題については, Google Classroom にて行う。

■教科書 笹本 忠 他共著「例題で学ぶ基礎科学」 森北出版
(ISBN978-4-627-24211-1)

■参考文献
「チャート式高校化学」 数研出版

■関連科目
数学, 物理

■成績評価方法および基準
定期考査成績:定期考査(80 %) と 提出物(20 %) で評価します。
最終成績:2 回の定期考査成績の平均(切り下げ)で評価します。
90 点以上「秀」GP「4」, 80 点以上 90 点未満「優」GP「3」, 70 点以上 80 点未満「良」GP「2」, 60 点以上 70 点未満「可」GP「1」, 60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし, 再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は, 合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 授業で省略した部分を教科書・参考書で調べ, 自分なりにノート等にまとめ, 疑問が生じれば次回以降の授業にて教員に質問して下さい。
10 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
2 号館 2 階 共通教育教員室

■授業評価アンケート実施方法
10 月に授業アンケートを実施します。

■メールアドレス
t-nishida@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
火曜日(12:15～13:00)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **化学1b**<br>英文名: Chemistry 1b | | | |
| 担当者: 西田 孝昌 | | 開講年度: 2021年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 後期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

**授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)**

「授業タイトル」

第 1週 「答案返却・解答, ボイルの法則・シャルルの法則」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 2週 「ボイル・シャルルの法則」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 3週 「気体の状態方程式」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 4週 「分圧・浸透圧」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 5週 「溶解度, 溶液の性質」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 6週 「溶液の性質」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 7週 「溶液の性質, コロイド溶液の性質」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 8週 「コロイド溶液の性質」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第 9週 「答案返却・解答, 化学反応と熱」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第10週 「化学反応と熱, 熱化学方程式」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第11週 「状態変化と熱化学方程式, ヘスの法則」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第12週 「反応の速さ, 反応速度を変える条件」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第13週 「反応のしくみ, 可逆反応と化学平衡」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第14週 「化学平衡の異動, ルシャトリエの原理」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

第15週 「試験前演習」
[予習内容]:Google Classroom を利用した予習課題(30 分)
[復習内容]:Google Classroom を利用した問題演習(30 分)

定期試験
第 1 から 15 週までの講義内容について、中間、期末の 2 回にわたり筆記試験を行う。
試験時間(各 50 分)

**授 業 概 要**

■授業概要・方法等
中学からの理科の流れをくみ, 化学法則の理解に必要不可欠な原子, 分子, 電子などの基礎的な概念の習熟に努め, それに派生する諸現象について実例を交えながら教授し, 深い理解に努めます。化学 1b は, 授業だけの学習時間では習熟が難しい科目であります。補助教材を用いての自宅学習が必須であり, 学生諸君が自ら意欲的に反復学習することが求められます。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は, この授業を履修することによって,
1. (A-G1)(D-G1)有効数字の取扱い, 指数表現を理解する。
2. (A-G1)(D-G1)熱化学方程式という言葉を理解する。また, 熱化学方程式中の“＋”が発熱, “－”が吸熱を示すことを理解する。
ことができるようになります。
この科目の履修は, 本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー B の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行う。課題は次の授業時に回収し, チェックを行う。Google Classroom による課題については, Google Classroom にて行う。

■教科書 笹本 忠 他共著「例題で学ぶ基礎科学」 森北出版 (ISBN978-4-627-24211-1)

■参考文献 「チャート式高校化学」 数研出版

■関連科目 数学, 物理

■成績評価方法および基準
定期考査成績:定期考査(80 %) と 提出物(20 %) で評価します。
最終成績:2 回の定期考査成績の平均(切り下げ)で評価します。
90 点以上「秀」GP「4」, 80 点以上 90 点未満「優」GP「3」, 70 点以上 80 点未満「良」GP「2」, 60 点以上 70 点未満「可」GP「1」, 60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし, 再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は, 合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 授業で省略した部分を教科書・参考書で調べ, 自分なりにノート等にまとめ, 疑問が生じれば次回以降の授業にて教員に質問して下さい。

■教員所在場所 2 号館 2 階 共通教育教員室

■授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。
第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。

■メールアドレス t-nishida@ktc.ac.jp

■オフィスアワー 火曜日(12:15～13:00)

| 科目名: 日本史 1a<br>英文名: Japanese History 1a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 松尾大介 | | 開講年度: 2021年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: | | アクティブ・ラーニングの形態: グループディスカッション | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: パワーポイント利用 | |
| 工学科:総合システム | 学年:1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 「日本文化のはじまり 」<br>[予習内容]:日本文化のはじまりについて事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 2週 「ヤマト政権と古墳」<br>[予習内容]:ヤマト政権と古墳について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 3週 「律令国家の成立」<br>[予習内容]:律令国家の成立について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 4週 「律令国家の繁栄」<br>[予習内容]:律令国家の繁栄について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 5週 「律令国家の変質」<br>[予習内容]:律令国家の変質について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 6週 「摂関政治」<br>[予習内容]:摂関政治について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 7週 「国風文化」<br>[予習内容]:国風文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 8週 「荘園の発達と武士の台頭・院政と平氏」<br>[予習内容]:荘園の発達と武士の台頭・院政と平氏について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 9週 「中間試験・答案返却・解答」<br>[予習内容]:これまでの講義について試験対策学習する。<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第10週 「鎌倉幕府の成立と発展 」<br>[予習内容]:鎌倉幕府の成立と発展について事前学習をする。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第11週 「鎌倉文化」<br>[予習内容]:鎌倉文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第12週 「蒙古襲来と幕府の衰退」<br>[予習内容]:蒙古襲来と幕府の衰退について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第13週 「室町幕府の成立・下克上の社会」<br>[予習内容]:室町幕府の成立・下克上の社会について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第14週 「室町文化・戦国の動乱」<br>[予習内容]:室町文化・戦国の動乱について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第15週 「織豊政権」<br>[予習内容]:織豊政権について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>定期試験<br>第 1 から 15 週までの講義内容について、中間、期末の 2 回にわたり筆記試験を行う。<br>試験時間(各 50 分) | ■授業概要・方法等<br>原始から始まり下克上の社会までを時代別に学習します。学生の興味・関心や疑問などに基づいて主題を設定すると共に, 断片的な知識に目を奪われること無く, 日本史の大筋の流れや時代の中での意味を見失うことのないように授業を行います。また, 現代社会に存在する様々な差別と関連させつつ, 法の下の平等の意味を理解できるように進めていきます。<br>■使用言語<br>日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (C-G1)原始、古代、中世の政治・経済・文化などを体系的に理解する。<br>2. (C-G1)現代日本形成の歴史的過程に対する十分な理解と認識を持つ。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。<br>■教科書<br>「高校日本史 B」 山川出版<br>■参考文献<br>特になし<br>■関連科目<br>世界史・政治・経済・地理・倫理<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式<br>定期考査成績:定期考査(90%)、プリント・レポート・ノート(10%)として評価します。<br>最終成績:2 回の定期考査成績の平均点とする。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>授業で省略した部分と課題プリントを教科書・参考書で調べ, 自宅学習して下さい。<br>10 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>松尾 本館 2 階 寮務部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>10 月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>matuo@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月曜日 9 限と木曜日 8 限 |

| 科目名: 日本史 1b<br>英文名: Japanese History 1a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 松尾 大介 | | 開講年度: 2021年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: | | アクティブ・ラーニングの形態: グループディスカッション | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: パワーポイント利用 | |
| 工学科:総合システム | 学年:1 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 「答案返却・解答、江戸幕府の成立」<br>[予習内容]:江戸幕府の成立について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 2週 「幕政の安定」<br>[予習内容]:幕政の安定について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 3週 「経済の発展」<br>[予習内容]:経済の発展について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 4週 「元禄文化」<br>[予習内容]:元禄文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 5週 「幕府の改革」<br>[予習内容]:幕府の改革について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 6週 「幕府の衰退・開国と幕府の滅亡」<br>[予習内容]:幕府の衰退・開国と幕府の滅亡について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 7週 「明治維新」<br>[予習内容]:明治維新について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 8週 「立憲国家の成立」<br>[予習内容]:立憲国家の成立について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 9週 「大陸政策の展開」<br>[予習内容]:大陸政策の展開について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第10週 「中間試験・答案返却・解答」<br>[予習内容]:これまでの講義について試験対策学習をする。<br>[復習内容]:<br>第11週 「第一次世界大戦日本」<br>[予習内容]:第一次世界大戦日本について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第12週 「政党政治と大衆文化」<br>[予習内容]:政党政治と大衆文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第13週 「恐慌の時代」<br>[予習内容]:恐慌の時代について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第14週 「軍部の台頭」<br>[予習内容]:軍部の台頭について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第15週 「第二次世界大戦」<br>[予習内容]:第二次世界大戦について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>定期試験<br>第 1 から 15 週までの講義内容について、中間、期末の 2 回にわたり筆記試験を行う。<br>試験時間(各 50 分) | ■授業概要・方法等<br>関心や疑問などに基づいて主題を設定すると共に, 断片的な知識に目を奪われること無く, 日本史の大筋の流れや時代の中での意味を見失うことのないように授業を行います。また, 現代社会に存在する様々な差別と関連させつつ, 法の下の平等の意味を理解できるように進めていきます。<br>■使用言語<br>日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (C-G1)近世、近代, 現代の政治・経済・文化などを体系的に理解する。<br>2. (C-G1)現代日本形成の歴史的過程に対する十分な理解と認識を持つ。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。<br>■教科書<br>「高校日本史 B」 山川出版<br>■参考文献<br>特になし<br>■関連科目<br>世界史・政治・経済・地理・倫理<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式<br>定期考査成績:定期考査(90%)、プリント・レポート・ノート(10%)として評価します。<br>最終成績:2 回の定期考査成績の平均点とする。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>授業で省略した部分と課題プリントを教科書・参考書で調べ, 自宅学習して下さい。<br>2 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>松尾 本館 2 階 寮務部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2 月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>matuo@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月曜日 9 限と木曜日 8 限 |

| 科目名: 地理 1a<br>英文名: Geography 1a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者:松下篤生　安田　俊 | | 開講年度: 2021年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: グループディスカッション<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年:1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授　業　概　要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 「地球上の位置と国家 」<br>[予習内容]:地球上の位置と国家について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 2週 「グローバル化が進む世界」<br>[予習内容]:グローバル化が進む世界について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 3週 「生活に影響を与える環境条件とは」<br>[予習内容]:生活に影響を与える環境条件について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 4週 「人々の生活と地形」<br>[予習内容]:人々の生活と地形について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 5週 「人々の生活と気候」<br>[予習内容]:人々の生活と気候について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 6週 「人々の生活と産業」<br>[予習内容]:人々の生活と産業について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 7週 「人々の生活と文化」<br>[予習内容]:「人々の生活と文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 8週 「中国の生活・文化」<br>[予習内容]:中国の生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 9週 「中間試験・答案返却・解答、韓国の生活・文化」<br>[予習内容]:韓国の生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第10週 「東南アジアの生活・文化」<br>[予習内容]:東南アジアの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第11週 「インドの生活・文化」<br>[予習内容]:インドの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第12週 「中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化」<br>[予習内容]:「中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第13週 「サハラ以南のアフリカの生活・文化」<br>[予習内容]:サハラ以南のアフリカの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第14週 「ヨーロッパの生活・文化」<br>[予習内容]:ヨーロッパの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第15週 「ロシアの生活・文化」<br>[予習内容]:ロシアの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>[復習内容]:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>定期試験<br>第 1 から 15 週までの講義内容について、中間、期末の 2 回にわたり筆記試験を行う。<br>試験時間(各 50 分) | ■授業概要・方法等<br>現代世界の様々な地域で起こっている自然的・社会的諸事象をグローバルな視点から学びます。系統地理的・地誌的に考察し現代世界の地理的認識を理解することで、地理的な見方、考え方を見につけることができます。また、地域的諸課題について、自然、社会環境を関連付け、主体的に認識、分析・解決していけるように多くの問題提示をおこないます。<br>■使用言語<br>日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (C-G1)世界の各地で生起する諸事象について、地図などを利用してグローバルな視点、ローカルな視点から考える。<br>2. (C-G1)世界の自然環境・社会環境の重要な事項について、地理的に認識することができ、地理的な見方や考え方をする。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー C の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。<br>■教科書<br>『高等学校新地理A』(帝国書院)<br>『高等学校新地理 A ワークノート』(帝国書院)<br>■参考文献<br>特になし<br>■関連科目<br>日本史、世界史、政治・経済、倫理、経済学<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式<br>定期考査成績:定期考査(90%)、プリント・レポート・ノート(10%)として評価します。<br>最終成績:2 回の定期考査成績の平均点とする。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>授業で省略した部分と課題プリントを教科書・参考書で調べ, 自宅学習して下さい。<br>10 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>本館 2 階　寮務部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>10 月に Web にてアンケートを実施します。<br>第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。<br>■メールアドレス<br>a-matsushita@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月曜日 9 限と木曜日 8 限 |

| 科目名: 地理 1b<br>英文名: Geography 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 松下篤生 安田 俊 | | 開講年度: 2021年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: グループディスカッション | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年:1 | 開講期: 後期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 「答案返却・解答、アメリカ合衆国の生活・文化 」<br>［予習内容］:アメリカ合衆国の生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 2週 「ラテンアメリカの生活・文化」<br>［予習内容］:ラテンアメリカの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 3週 「オーストラリアの生活・文化」<br>［予習内容］:オーストラリアの生活・文化について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 4週 「複雑にからみ合う地球的課題」<br>［予習内容］:複雑にからみ合う地球的課題について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 5週 「世界の環境問題」<br>［予習内容］:世界の環境問題について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 6週 「世界の資源・エネルギー問題」<br>［予習内容］:世界の資源・エネルギー問題について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 7週 「世界の人口問題」<br>［予習内容］:世界の人口問題について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 8週 「世界の食糧問題」<br>［予習内容］:世界の食糧問題について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第 9週 「世界の都市・住居問題」<br>［予習内容］:「世界の都市・住居問題について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第10週 「中間試験・答案返却・解答、身近にあるさまざまな地図」<br>［予習内容］:身近にあるさまざまな地図について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第11週 「日本の自然環境と防災」<br>［予習内容］:日本の自然環境と防災について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第12週 「身近な地域の課題と地域調査」<br>［予習内容］:身近な地域の課題と地域調査について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第13週 「地域調査の発表」<br>［予習内容］:地域調査の発表について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第14週 「国際平和と日本」<br>［予習内容］:国際平和と日本について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>第15週 「地球的課題の地理的考察」<br>［予習内容］:地球的課題の地理的考察について事前学習する。(60 分)<br>［復習内容］:授業内容を復習して理解する。(30 分)<br>定期試験<br>第 1 から 15 週までの講義内容について、中間、期末の 2 回にわたり筆記試験を行う。<br>試験時間(各 50 分) | ■授業概要・方法等<br>現代世界の様々な地域で起こっている自然的・社会的諸事象をグローバルな視点から学びます。系統地理的・地誌的に考察し現代世界の地理的認識を理解することで、地理的な見方、考え方を見につけることができます。また、地域的諸課題について、自然、社会環境を関連付け、主体的に認識、分析・解決していけるように多くの問題提示をおこないます。<br>■使用言語<br>日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (C-G1) 自国、世界の文化や価値観を理解する。自然との調和を考えた視点からものごとを考える。<br>2. (C-G1) 現代世界の地理的認識を養うこと。どこで、どのように地理事象が見られるか考える。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー C の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。<br>■教科書<br>『高等学校新地理A』(帝国書院)<br>『高等学校新地理 A ワークノート』(帝国書院)<br>■参考文献<br>特になし<br>■関連科目<br>日本史、世界史、政治・経済、倫理、経済学<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式<br>定期考査成績:定期考査(90%)、プリント・レポート・ノート(10%)として評価します。<br>最終成績:2 回の定期考査成績の平均点とします。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>授業で省略した部分と課題プリントを教科書・参考書で調べ, 自宅学習して下さい。<br>2 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>本館 2 階 寮務部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2 月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>a-matsushita@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月曜日 9 限と木曜日 8 限 |

| 科目名: **保健体育 1a(実技)**<br>英文名: Health and Education 1a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 辻本 修 池田龍佐人 塚本裕也 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態:該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業形態: 実技 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週「 シラバス配布・レクリエーション 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 2週「集団行動Ⅰ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 3週「集団行動Ⅱ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 4週「集団行動Ⅲ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 5週「基本体力の向上Ⅰ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 6週「基本体力の向上Ⅱ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 7週「球技・基本体力の向上Ⅰ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 8週「球技・基本体力の向上Ⅱ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 9週「球技・基本体力の向上Ⅲ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第10週「球技・基本体力の向上Ⅳ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第11週「球技・基本体力の向上Ⅴ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第12週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第13週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第14週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第15週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]: | ■授業概要・方法等<br>少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (C-G2)(D-G2)自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC、D の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>■教科書<br>■参考文献<br>「保健体育概論」近畿地区高等専門学校体育研究会編<br>スポーツルールブック<br>■関連科目<br>保健・健康科学<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(1 回) 方式: 記述式<br>保健体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方を評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性(30%)、保健体育理論(定期考査)(30%)によって総合的に評価します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習してください。<br>10月に「学修時間に関する調査」を実施します。<br>■教員所在場所<br>本館 2 階 寮務部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>10月に Web にてアンケートを実施します。<br>■教員所在場所<br>体育館体育教官室(辻本)<br>本館1階学生部(池田・塚本)<br>■メールアドレス<br>tujimoto@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月～金曜日(15:00～16:00) |

| 科目名: **保健体育 1b(実技)**<br>英文名: Health and Education 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 辻本 修 池田龍佐人 塚本裕也 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態:該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当なし | |
| 工学科:総合システム | 学年:1 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業形態: 実技 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週「 シラバス配布・レクリエーション 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 2週「集団行動Ⅰ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 3週「集団行動Ⅱ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 4週「集団行動Ⅲ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 5週「基本体力の向上Ⅰ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 6週「基本体力の向上Ⅱ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 7週「球技・基本体力の向上Ⅰ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 8週「球技・基本体力の向上Ⅱ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 9週「球技・基本体力の向上Ⅲ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第10週「球技・基本体力の向上Ⅳ」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第11週「球技・基本体力の向上Ⅴ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第12週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第13週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第14週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第15週「 新体力テスト 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]: | ■授業概要・方法等<br>少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1.(C-G2)(D-G2)自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーDの達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>■教科書<br>■参考文献<br>「保健体育概論」近畿地区高等専門学校体育研究会編<br>スポーツルールブック<br>■関連科目<br>保健・健康科学<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(1 回) 方式: 記述式<br>保健体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方を評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性(30%)、保健体育理論(定期考査)(30%)によって 総合的に評価します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>2月に「学修時間に関する調査」を実施します。<br>課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習してください。<br>■教員所在場所 本館 2 階 寮務部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2月に Web にてアンケートを実施します。<br>■教員所在場所<br>体育館体育教官室(辻本)<br>本館1階学生部(池田・塚本)<br>■メールアドレス<br>tujimoto@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月～金曜日(15:00～16:00) |

| 科目名: 保健体育 1a (理論)<br>英文名: Health and Physical Education 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 田内 翔太 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態:グループワーク<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング:<br>パワーポイント、ビデオ学習を使用 | |
| 工学科: 総合システム | 学年:1 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 実技 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 「 授業説明 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 2週 「 保健 私たちの健康のすがた 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 3週 「 保健 健康のとらえ方 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 4週 「 保健 健康と意志決定・行動選択 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 5週 「 保健 健康に関する環境づくり 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 6週 「 保健 生活習慣病とその予防 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 7週 「 保健 食事と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 8週 「 保健 運動と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 9週 「 保健 休養・睡眠と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第10週 「 保健 喫煙と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第11週 「 保健 飲酒と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第12週 「 保健 薬物乱用と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第13週 「 体育理論 暑熱環境下でのトレーニング 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第14週 「体育理論 高専生の体力とスポーツトレーニングの必要性 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第15週 「 まとめ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>定期試験<br>第1回から 15 回までの講義内容について筆記試験を行う。 | ■授業概要・方法等<br>少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (C-G2) (D-G2) 自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC、D の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>■教科書<br>「保健体育概論」近畿地区高等専門学校体育研究会編<br>スポーツルールブック<br>■参考文献<br>■関連科目<br>保健・健康科学<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(1 回) 方式: 記述式<br>保健体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方を評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性(30%)、保健体育理論(定期考査) (30%)によって 総合的に評価します。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習してください。<br>2月に「学修時間に関する調査」を実施します。<br>■教員所在場所 本館 1 階学生部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>tauchi@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月～金曜日(15:00～16:00) |

| 科目名: 保健体育 1b (理論)<br>英文名: Health and Physical Education 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 田内 翔太 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態:グループワーク<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング:<br>パワーポイント、ビデオ学習を使用 | |
| 工学科: 総合システム | 学年:1 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 実技 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 「 授業説明 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 2週 「 保健 私たちの健康のすがた 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 3週 「 保健 健康のとらえ方 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 4週 「 保健 健康と意志決定・行動選択 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 5週 「 保健 健康に関する環境づくり 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 6週 「 保健 生活習慣病とその予防 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 7週 「 保健 食事と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 8週 「 保健 運動と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第 9週 「 保健 休養・睡眠と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第10週 「 保健 喫煙と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第11週 「 保健 飲酒と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第12週 「 保健 薬物乱用と健康 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第13週 「 体育理論 暑熱環境下でのトレーニング 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第14週 「体育理論 高専生の体力とスポーツトレーニングの必要性 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>第15週 「 まとめ 」<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:<br>定期試験<br>第1回から 15 回までの講義内容について筆記試験を行う。 | ■授業概要・方法等<br>少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (C-G2) (D-G2) 自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC、D の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>■教科書<br>「保健体育概論」近畿地区高等専門学校体育研究会編<br>スポーツルールブック<br>■参考文献<br>■関連科目<br>保健・健康科学<br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(1 回) 方式: 記述式<br>保健体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方を評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性(30%)、保健体育理論(定期考査) (30%)によって総合的に評価します。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習してください。<br>2月に「学修時間に関する調査」を実施します。<br>■教員所在場所<br>本館 1 階学生部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>tauchi@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月～金曜日(15:00～16:00) |

| 科目名: 芸術(書道)<br>英文名: Calligraphy | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 岡本 美智子 | | 開講年度: 2021 年度(令和3年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 通年 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業の形態: 講義 実技 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br><br>第1週～第2週 「漢字の書」の多様な表現<br>[予習内容]:用具・用材の特徴を理解<br>[復習内容]:授業内容の復習<br>第3週～第4週 古典に基づく基本的な技法を習得すること<br>[予習内容]:用筆・運筆の練習をする(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第5週～第6週 字形の構成を理解し、工夫すること<br>[予習内容]:楷書及び行書(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第7週～第8週 楷書の字形の取り方について<br>[予習内容]:古典楷書などを調べる(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第9週～第10週 行書の字形<br>[予習内容]:古典等を調べる(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第11週～第12週 草書の字形<br>[予習内容]:古典等を調べる(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第13週～第14週 隷書及び豪書<br>[予習内容]:古典等を調べる(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第15週～第16週 第1週から14週までの総復習<br>[予習内容]:<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第17週～第18週 仮名の書<br>[予習内容]:用具・用材の特徴を理解(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第19週～第20週 仮名の書<br>[予習内容]:古典による臨書学習(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第21週～第22週 創作活動<br>[予習内容]:どのように表現するのかを考察する(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第23週～第24週 創作活動<br>[予習内容]:表現の構想を練る(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第25週～第26週 鑑賞に関する指導<br>[予習内容]:名筆を鑑賞する(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第27週～第28週 鑑賞に関して<br>[予習内容]:書への関心を高める(30 分)<br>[復習内容]:授業内容の復習(30 分)<br>第29週～第30週 第18週から28週までの復習<br>[予習内容]:これまでの学習項目で質問点を整理しておくこと(30 分)<br>[復習内容]:出された質問点の考察内容を復習すること(30 分) | ■授業概要・方法等<br>漢字や仮名などの古典の美とその技法を習得し、自己を表出するような美を生み出し楽しむことができる様にすることを目指す。<br><br>■使用言語<br>日本語<br><br>■学習・教育目標および到達目標<br>講者はこの授業を履修することによって、書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。そして、<br>1.(C-G1)書を通して、自国および世界の文化と価値観を述べる<br>2.(D-G1)書を通して、国語の基礎学力を身につける<br>3.(D-G2)書を通して、創造力を身につける<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC,D の達成に関与しています<br><br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>書写表現を通して復習をすることで行う。<br><br>■教科書 特になし<br><br>■参考文献<br>古典の作成(臨書)など使用<br><br>■関連科目 なし<br><br>■成績評価方法および基準 種類:作品提出<br>成績:提出された課題作品で評価します。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br><br>■授業時間以外に必要な学習<br>講義内容の習得に関するレポート作成。<br>10 月と 2 月に学修時間に関する調査を実施します。<br><br>■教員所在場所 :2 号館 2 階 共通教育科教員室<br><br>■授業評価アンケート実施方法<br>授業評価アンケート実施方法<br>10 月と2月に Web にてアンケートを実施します。<br><br>■メールアドレス :okamoto@ktc.ac.jp<br><br>■オフィスアワー :水曜日 15:30～16:15 |

| 科目名: 防災リテラシー<br>英文名: Literacy for disaster prevention | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 鈴木 隆 神田 毅 鍬田英也 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 通年 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 ガイダンス・第 1講 近年の自然災害に学ぶ<br>第 2週 第 2講 防災士の役割<br>第 3週 第 3講 身近でできる防災対策第 4講 耐震診断と補強<br>第 4週 第 5講 災害とライフライン<br>第 5週 第 6講 災害と交通インフラ<br>第 6週 第 7講 災害医療<br>第 7週 第 8講 行政の災害対応<br>第 8週 第 9講 避難所運営と仮設住宅の暮らし<br>第 9週 第10講 災害復旧と支援制度<br>第10週 第11講 地域の自主防災活動<br>第11週 第12講 災害とボランティア活動<br>第12週 第13講 緊急救助技術を身につける<br>第13週 第14講 訓練と防災研修<br>第14週 第15講(1) 地震のしくみと被害<br>第15週 第15講(2) 地震のしくみと被害<br>第16週 第16講 津波のしくみと被害<br>第17週 第17講 火山噴火のしくみと被害<br>第18週 第18講 風水害と対策<br>第19週 第19講 土砂災害と対策<br>第20週 第20講 火災と防火対策<br>第21週 第21講 第災害情報の発信と入手<br>第22週 第22講 災害と流言・風評<br>第23週 第23講 公的機関による予警報<br>第24週 第24講 地震に関する知見・情報<br>第25週 第25講 被害想定とハザードマップ<br>第26週 第26講 避難と避難行動<br>第27週 第27講 都市防災<br>第28週 第28講 災害と危機管理・第29講 企業防災と事業継続計画<br>第29週 第30講 災害と損害保険・第31講 地域の再建と復興<br>第30週 後期期末考査の試験説明<br><br>[復習内容]:単元確認テストにて理解を深める。(google classroom にて出題)<br>定期試験<br>第 1 回から第 30 回までの講義内容について筆記試験を行う(試験時間 50 分)。 | ■授業概要・方法等<br>この授業は、平成 24 年度に採択された文部科学省大学間連携共同教育推進事業「近畿地区 7 高専連携による防災技能を有した技術者教育の構築」の一環で、兵庫県南部地震をはじめとする大規模災害から復興した経験を持つ近畿地区7高専が協働で、国公私立の垣根を越えて、災害時にリーダーとして活動できる防災技能をもった技術者教育を実施するものです。防災に関しては、行政との連携が重要であるため、三重県や名張市、近畿地区7高専と連携した授業とします。<br>■使用言語<br>日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (B-G1) 防災、減災に関する知識を説明し、技能を実践する。<br>2. (B-G2) 地震等の災害に対し、学んだ防災リテラシーを実践的問題解決に応用し、実行する。<br>3. (D-G1) 社会科学および自然科学の分野の基礎学力を広く身につけ、災害時に防災技能をもったリーダーとして活動する。<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーB、D の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後に、模範解答と学生の試験開示を個々に行います。<br>課題については授業時間内に解答します。<br>■教科書<br>google classroom にて配布します。<br>■参考文献<br>テーマごとに映像および資料を上映します。<br>■関連科目<br>なし<br>■成績評価方法および基準<br>種類:定期試験(1 回) 方式:マークシート方式<br>定期考査成績:定期試験(100%)で評価します。<br>最終成績:定期試験(100%)とします。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>授業で学んだ災害事例を踏まえて、災害を防ぐ方法を調べるともにその理解を深めてください。資料を読み直し，予習や復習を行い、授業内容について理解してください。これらの予習・復習を行うことにより、知識の定着化を図ります。その確認方法として，google classroom 内にてスプレッドシートによる3択の問題を講義毎に出題します。<br>2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。<br>■教員所在場所<br>鈴木:本館 2 階 教務部<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2 月に授業アンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>鈴木:t_suzuki@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月曜日～金曜日の 12 時 15 分～13 時 00 分 |

| 科目名: 中国語　初級 a<br>英文名: Chinese (beginner‘s class)a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 小林千津(王樹岩) | | 開講年度: 2021年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:<br>中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授　業　概　要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 ガイダンス(中国語の概要及び授業の進め方)<br>予習内容:中国語の文字、文法の特徴について調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 2週 発音編(音節の成り立ち、母音1)<br>予習内容:中国語音節の成り立ち、声調、基本になる母音について調べること。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 3週 発音編(子音、母音2)<br>予習内容:子音、複合母音について調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 4週 発音編(母音3)<br>予習内容:鼻音を伴う母音, 軽声、発音のr化について調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 5週 発音編(声調の変化、音節のつづり方1)<br>予習内容:第3声の変化、音節のつづり方について調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 6週 発音編(音節のつづり方 2)<br>予習内容:音節のつづり方、声調符号の位置について調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 7週 発音編(発音の総合練習)<br>予習内容: 有気音と無気音の違い、単語や挨拶語の読み方について調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説<br>予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 9週 第1課 人称代名詞、挨拶語、名字の聞き方<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第10週 第2課 感謝、お詫びの表現、別れの挨拶<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第11週 第3課 名前の聞き方、常用名字と名前<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第12週 第1課～第3課の復習<br>予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題 1～3をまとめること(60分)<br>第13週 第4課 名詞述語文、“不”の声調変化、“也”の使い方<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題4をまとめること(60分)<br>第14週 第5課 反復疑問文、副詞“都”<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題5をまとめること(60分)<br>第15週 総復習<br>予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)<br>復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)<br>定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分) | ■授業概要・方法等<br>授業概要:<br>この授業は初めて中国語を勉強するものを対象とし、中国語の発音から基本文型と初歩的な会話を学びます。授業は前半において発音・声調を集中的に習い、後半は挨拶語や名詞述語文を中心に基礎文法を修得しつつ、初歩的な会話練習を繰り返すことによって、発音・声調と基礎文型の習熟度を高めていきます。<br>授業方法:<br>①日本語ローマ字と比べながらピンインを教えます。<br>②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。<br>③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。<br>■使用言語<br>日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって<br>1. (E-G2) (E-2) 中国語発音記号(ピンイン)を読む、書く、聞く、話す<br>2. (E-G2) (E-2) 字引きを利用する<br>3. (E-G2) (E-2) 中国語で挨拶する<br>4. (E-G2) (E-2) 簡単な自己紹介をする<br>ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。<br>■教科書<br>鈴木律子著〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7<br>■参考文献<br>その他の教材。<br>■関連科目<br>特にありません。<br>■成績評価方法および基準<br>定期考査成績:定期試験(100%)<br>定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式70%、リスニング 30%<br>最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。<br>90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。<br>10月に「学修時間に関する調査」を実施します。<br>■教員所在場所 図書館1階 職員室<br>■授業評価アンケート実施方法<br>10月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー 随時 |

| 科目名: 中国語　初級 b<br>英文名: Chinese (beginner‘s class)b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 小林千津(王樹岩) | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:<br>中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 後期 | |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修単位 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授　業　概　要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週　第6課　指示代詞、疑問詞“什么”(一)<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 2週　第6課　指示代詞、疑問詞“什么”(二)<br>予習内容:本文を翻訳しておく。 (30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題6をまとめること(60分)<br>第 3週　第7課　所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(一)<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 4週　第7課　所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(二)<br>予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題7をまとめること(60分)<br>第 5週　第6課～第7課の復習<br>予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)<br>復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)<br>第 6週　第8課　動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(一)<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 7週　第8課　動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(二)<br>予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題8をまとめること(60分)<br>第 8週　第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説<br>予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第 9週　第9課　形容詞述語文、反復疑問文2(一)<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第10週　第9課　形容詞述語文、反復疑問文2(二)<br>予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題9をまとめること(60分)<br>第11週　第10課　所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(一)<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第12週　第10課　所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(二)<br>予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題10をまとめること(60分)<br>第13週　第11課　動詞“在”、“一”の声調変化(一)<br>予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)<br>復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)<br>第14週　第11課　動詞“在”、“一”の声調変化(二)<br>予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)<br>復習内容:グーグルクラスルームの課題11をまとめること(60分)<br>第15週　総復習<br>予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)<br>復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)<br>定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分) | ■授業概要・方法等<br>授業概要:<br>前期に引き続き、述語文を一通り学び、指示代詞、疑問詞、所属・所有、数字などの使い方について学習します。<br>授業方法:<br>①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。<br>②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。<br>③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。<br>■使用言語　日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (E-G2) (E-2) 新出単語を書く<br>2. (E-G2) (E-2) 各課の文法事項を把握する<br>3. (E-G2) (E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く<br>4. (E-G2) (E-2) 学習した単語や文型を利用して、簡単な文を書くことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。<br>■教科書<br>鈴木律子著〔標準高校中国語〕 白帝社 ISBN978-4-86398-243-7<br>■参考文献<br>その他の教材。<br>■関連科目<br>特にありません。<br>■成績評価方法および基準<br>定期考査成績:定期試験(80%)　提出課題(20%)<br>定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式 80%、リスニング 20%<br>最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。<br>90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。<br>2月に「学修時間に関する調査」を実施します。<br>■教員所在場所　図書館1階　職員室<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス　kobayashi@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー　随時 |

| 科目名: 英語演習1a<br>英文名: English Seminar 1a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 藤川 雅行 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:貿易会社輸出担当として勤務。<br>予備校・塾・公立高校で授業を担当。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 遠隔授業 | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br><br>第 1週 Introduction 文の種類<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 2週 Unit2 現在時制・過去時制<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 3週 Unit3 未来表現<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 4週 Unit4 完了形(1)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 5週 Unit5 完了形(2)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 6週 Unit6 助動詞(1)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 7週 Unit7 助動詞(2)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 8週 Unit8 助動詞(3)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第 9週 Unit9 文型<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第10週 Unit10 受動態(1)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第11週 Unit11 受動態(2)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第12週 Unit12 不定詞(1)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第13週 Unit13 不定詞(2)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第14週 Unit14 不定詞(3)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br>第15週 Unit15 不定詞(4)<br>[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。<br>[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。<br><br>定期試験<br>第 1 回から第 15 回までの授業内容について筆記試験を行う。<br>中間試験(50 分)・期末試験(50 分) | ■授業概要・方法等<br>本演習では英語の基礎的な力をつけることを目的としています。<br>毎授業、問題にあたり、次に解説をする演習スタイルで行います。基礎力をしっかりとつける問題を題材に、英語学習の基礎となる文法学習と語彙力の強化をバランスよく行うことで、総合的な英語力を高めます。<br>■使用言語<br>日本語<br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (E-G1)英文法の基本重要事項の理解を深める。<br>2. (E-G1)語彙及び英語構文を体系的に学ぶ。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後、模範解答の開示と解説を行います。<br>■教科書<br>六訂版 英語演習ノート ー英文法の確認 ー オレンジ版<br>数研出版 ISBN978-4-410-36553-9<br>■参考文献<br>紙辞書または電子辞書を持参してください。<br>■関連科目<br>英語 1～3 英語演習2<br>■成績評価方法および基準<br>定期テスト(中間・期末) 80%、小テスト 20%<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上 90 点未満「優」GP[3]、70 点以上 80 点未満「良」GP[2]、60 点以上 70 点未満「可」GP[1]、60 点未満「不可」GP「0」とする。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP[0]とします。<br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>予習は指定教科書の単語及び英文を熟読し、わからないところは辞書で調べておくこと。<br>復習は授業時に間違えた問題や、正解に導けなかったところに重点を置き理解に努めること。<br>2 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>2 号館 2 階共通教育室<br>■授業評価アンケート実施方法<br>2 月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>fujikawa@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>月曜日 12:00～13:00 |

| 科目名: 英語演習 1b<br>英文名: English Seminar 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 藤川 雅行 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:貿易会社輸出担当として勤務。<br>予備校・塾・公立高校で授業を担当。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 遠隔授業 | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 Unit16 動名詞(1)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 2週 Unit17 動名詞(2)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 3週 Unit18 分詞(1)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 4週 Unit19 分詞(2)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 5週 Unit20 比較(1)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 6週 Unit21 比較(2)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 7週 Unit22 比較(3)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 8週 Unit23 関係詞(1)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第 9週 Unit24 関係詞(2)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第10週 Unit25 関係詞(3)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第11週 Unit26 関係詞(4)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第12週 Unit27 仮定法(1)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第13週 Unit28 仮定法(2)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第14週 Unit29 仮定法(3)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。
第15週 Unit30 仮定法(4)
[予習内容]:(30 分):単語熟語を調べ、演習問題に備える。
[復習内容]:(30 分):間違えた問題を再考、見直す。

定期試験
第 1 回から第 15 回までの授業内容について筆記試験を行う。
中間試験(50 分)・期末試験(50 分)

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
本演習では英語の基礎的な力をつけることを目的としています。
毎授業、問題にあたり、次に解説をする演習スタイルで行います。基礎力をしっかりとつける問題を題材に、英語学習の基礎となる文法学習と語彙力の強化をバランスよく行うことで、総合的な英語力を高めます。
■使用言語
日本語
■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G1)英文法の基本重要事項の理解を深める。
2. (E-G1)語彙及び英語構文を体系的に学ぶ。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー E の達成に関与しています。
■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後、模範解答の開示と解説を行います。
■教科書
六訂版 英語演習ノート ー英文法の確認 ー オレンジ版
数研出版 ISBN978-4-410-36553-9
■参考文献
紙辞書または電子辞書を持参してください。
■関連科目 英語 1～3 英語演習2
■成績評価方法および基準
定期テスト(中間・期末) 80% ・ 小テスト 20%
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上 90 点未満「優」GP[3]、70 点以上 80 点未満「良」GP[2]、60 点以上 70 点未満「可」GP[1]、60 点未満「不可」GP「0」とする。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP[0]とします。
■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
予習は指定教科書の単語及び英文を熟読し、わからないところは辞書で調べておくこと。
復習は授業時に間違えた問題や、正解に導けなかったところに重点を置き理解に努めること。
2 月に学修時間に関する調査を実施します。
■教員所在場所
2 号館 2 階共通教育室
■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。
■メールアドレス
fujikawa@ktc.ac.jp
■オフィスアワー
月曜日 12:00～13:00

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **基礎数学演習 1 a**<br>英文名: Fundamental Mathematics Exercise 1a | | | |
| 担当者: 神田　毅 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:研究員としてシンクタンクに勤務。ソフトウェア開発を担当。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 3 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修単位 |

**授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)**

「授業タイトル」

第 1週 「ガイダンス」「中学校数学の発展問題」
[復習内容]: 扱った問題の見直し(60 分)

第 2 週 「中学校数学の発展問題」
[予習内容]: 三平方の定理の確認(30 分)
[復習内容]: 扱った問題の見直し(60 分)

第 3 週 「三角比の予習」
[予習内容]: 三平方の定理の確認(30 分)
[復習内容]: プリント「三角比練習問題 1000 題」(60 分)

第 4 週 「三角比の予習」
[予習内容]: プリント「三角比練習問題 1000 題」(30 分)
[復習内容]: プリント「三角比練習問題 1000 題」(60 分)

第 5週 **筆記試験 1 回目「中学校数学の発展問題と三角比の予習」(試験時間 40 分)**

第 6 週 「ガイダンス」「数と式の計算」
[予習内容]: 「問題集」の「1 章 数と式の計算」(30 分)
[復習内容]: プリント「数と式の計算の練習問題」(60 分)

第 7 週 「数と式の計算」
[予習内容]: 「問題集」の「1 章 数と式の計算」(30 分)
[復習内容]: プリント「数と式の計算の練習問題」(60 分)

第 8 週 「数と式の計算」
[予習内容]: 「問題集」の「1 章 数と式の計算」(30 分)
[復習内容]: プリント「数と式の計算の練習問題」(60 分)

第 9 週 「数と式の計算」
[予習内容]: 「問題集」の「1 章 数と式の計算」(30 分)
[復習内容]: プリント「数と式の計算の練習問題」(60 分)

第 10 週 **筆記試験 2 回目「数と式の計算」(試験時間 40 分)**

第 11 週 「方程式と不等式」
[予習内容]: 「問題集」の「2 章 方程式と不等式」(30 分)
[復習内容]: プリント「方程式と不等式の練習問題」(60 分)

第 12 週 「方程式と不等式」
[予習内容]: 「問題集」の「2 章 方程式と不等式」(30 分)
[復習内容]: プリント「方程式と不等式の練習問題」(60 分)

第 13 週 「方程式と不等式」
[予習内容]: 「問題集」の「2 章 方程式と不等式」(30 分)
[復習内容]: プリント「方程式と不等式の練習問題」(60 分)

第 14 週 「方程式と不等式」
[予習内容]: 「問題集」の「2 章 方程式と不等式」(30 分)
[復習内容]: プリント「方程式と不等式の練習問題」(60 分)

第 15 週 **筆記試験 3 回目「方程式と不等式」(試験時間 40 分)**

**授　業　概　要**

■授業概要・方法等
必修科目の「基礎数学」で扱う単元の発展問題、および、扱いきれない単元の解説を行います。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (A-G1)様々な発展問題を解く。
ことができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。

■教科書
指定しません。適宜プリントを配布します。

■参考文献
「新 基礎数学 問題集」大日本図書, 2020, ISBN978-4-477-03316-7

■関連科目
基礎数学

■成績評価方法および基準　種類: 筆記試験(3 回), 方式: 記述式
最終成績: 課題が 50%、筆記試験(3 回)の平均が 50%で算出します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
自習用練習問題を提出すること。
10月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
図書館 2 階　学習指導室

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス　kanda@ktc.ac.jp

■オフィスアワー　水曜日 4 限、木曜日 4 限

| 科目名: 基礎数学演習1b<br>英文名: Fundamental Mathematics Exercise 1b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 神田 毅 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容:研究員としてシンクタンクに勤務。ソフトウェア開発を担当。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 3 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修単位 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1 週 「ガイダンス」「関数とグラフ」
[予習内容]: 「問題集」の「3 章 関数とグラフ」(30 分)
[復習内容]: プリント「関数とグラフの練習問題」(60 分)

第 2 週 「関数とグラフ」
[予習内容]: 「問題集」の「3 章 関数とグラフ」(30 分)
[復習内容]: プリント「関数とグラフの練習問題」(60 分)

第 3 週 「関数とグラフ」
[予習内容]: 「問題集」の「3 章 関数とグラフ」(30 分)
[復習内容]: プリント「関数とグラフの練習問題」(60 分)

第 4 週 「関数とグラフ」
[予習内容]: 「問題集」の「3 章 関数とグラフ」(30 分)
[復習内容]: プリント「関数とグラフの練習問題」(60 分)

第 5 週 **筆記試験 1 回目「関数とグラフ」(試験時間 40 分)**

第 6 週 「指数/対数関数」
[予習内容]: 「問題集」の「4 章 指数/対数関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「指数/対数関数の練習問題」(60 分)

第 7 週 「指数/対数関数」
[予習内容]: 「問題集」の「4 章 指数/対数関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「指数/対数関数の練習問題」(60 分)

第 8 週 「指数/対数関数」
[予習内容]: 「問題集」の「4 章 指数/対数関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「指数/対数関数の練習問題」(60 分)

第 9 週 「指数/対数関数」
[予習内容]: 「問題集」の「4 章 指数/対数関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「指数/対数関数の練習問題」(60 分)

第 10 週 **筆記試験 2 回目「指数/対数関数」(試験時間 40 分)**

第 11 週 「三角関数」
[予習内容]: 「問題集」の「5 章 三角関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「三角関数の練習問題」(60 分)

第 12 週 「三角関数」
[予習内容]: 「問題集」の「5 章 三角関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「三角関数の練習問題」(60 分)

第 13 週 「三角関数」
[予習内容]: 「問題集」の「5 章 三角関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「三角関数の練習問題」(60 分)

第 14 週 「三角関数」
[予習内容]: 「問題集」の「5 章 三角関数」(30 分)
[復習内容]: プリント「三角関数の練習問題」(60 分)

第 15 週 **筆記試験 3 回目「三角関数」(試験時間 40 分)**

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
必修科目の「基礎数学」で扱う単元の発展問題、および、扱いきれない単元の解説を行います。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (A-G1)様々な発展問題を解く。
ことができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。

■教科書
指定しません。適宜プリントを配布します。

■参考文献
「新 基礎数学 問題集」大日本図書, 2020, ISBN978-4-477-03316-7

■関連科目
基礎数学

■成績評価方法および基準 種類: 筆記試験(3 回), 方式: 記述式
最終成績: 課題が 50%、筆記試験(3 回)の平均が 50%で算出します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
自習用練習問題を提出すること。
2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
図書館 2 階 学習指導室

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス kanda@ktc.ac.jp

■オフィスアワー 水曜日 4 限、木曜日 4 限

| 科目名: 基礎物理 a<br>英文名: Fundamental Physics a | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 川上 申之介 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 物理に関する研究機関等において研究開発を担当 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「ガイダンス・単位系」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 2週 「直線運動と速度」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 3週 「平面運動と速度」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 4週 「加速度」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 5週 「落体の運動」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 6週 「力とそのはたらき」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 7週 「力のつりあい」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 8週 「運動の法則」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第 9週 「答案返却・解答, 摩擦を受ける運動」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第10週 「液体や気体から受ける力」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第11週 「剛体にはたらく力のつりあい」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第12週 「仕事」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第13週 「運動エネルギー」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第14週 「位置エネルギー」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

第15週 「力学的エネルギーの保存」
[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)
[復習内容]:問題演習(30 分)

定期試験(50 分)

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
技術者をめざす高専の学生を対象に、自然界に現れるさまざまな現象(力学、熱力学)の法則性や考え方を学びます

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は, この授業を履修することによって,
1. (A-G1)(D-G1)物体の運動、働く力等の中に法則性があることを実感します。
2. (A-G1)(D-G1)運動の法則、エネルギー保存則などの物理法則の意味がある程度理解できます。
3. (A-G1)(D-G1)物体の運動、働く力、エネルギー等の基本的な問題を解くことができます。
4. (A-G1)(D-G1)物体の運動、働く力、エネルギー等の物理法則が工業へ応用されることを実感します。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
授業中に実施する課題は、毎回解説をします。定期試験は定期試験後に要点と解説をします.

■教科書
「チャート式シリーズ 新物理」 数研出版
(問題集) 「リードα物理基礎・物理」 数研出版

■参考文献
「フォトサイエンス 物理図録」 数研出版

■関連科目 物理 2b・3a・3b, 応用物理 a・b

■成績評価方法および基準
種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式
試験(100%)で評価します.
最終成績:2 回の定期試験を平均して評価します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上 90 点未満「優」GP「3」、70 点以上 80 点未満「良」GP「2」、60 点以上 70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
グーグルクラスルームの予習内容および課題に取り組み期日までに提出してください。
10 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所 本館2階 入試部

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス kawakami@ktc.ac.jp

■オフィスアワー 金曜日の 12 時 15 分～13 時 00 分

| 科目名: **基礎物理 b**<br>英文名: Fundamental Physics b | | | |
|---|---|---|---|
| 担当者: 川上 申之介 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 物理に関する研究機関等において研究開発を担当 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 後期 | コース: |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週 「答案返却・解答、運動量と力積」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 2週 「運動量保存則」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 3週 「反発係数」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 4週 「等速円運動」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 5週 「慣性力」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 6週 「単振動」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 7週 「万有引力」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 8週 「熱と熱量」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第 9週 「熱と物質の状態」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第10週 「答案返却・解答, 熱と仕事・エネルギー」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第11週 「エネルギー資源とその利用」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第12週 「気体の法則」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第13週 「気体分子の運動」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第14週 「気体の状態変化」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br>第15週 「不可逆変化と熱機関」<br>[予習内容]:単元の教科書を読む(30 分)<br>[復習内容]:問題演習(30 分)<br><br>定期試験(50 分) | ■授業概要・方法等<br>技術者をめざす高専の学生を対象に、自然界に現れるさまざまな現象(力学、熱力学)の法則性や考え方を学びます<br>■使用言語<br>日本語<br><br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は, この授業を履修することによって,<br>1. (A-G1)(D-G1)衝突運動、回転運動、物質や気体の熱等の中に法則性があることを実感できる。<br>2. (A-G1)(D-G1)運動量と力積、円運動、単振動、熱力学などの物理法則の意味がある程度理解できる。<br>3. (A-G1)(D-G1)衝突運動、回転運動、熱力学等の基本的な問題を解くことができる。<br>4. (A-G1)(D-G1)回転運動、熱力学等の物理法則が工業へ応用されることを実感できる。ことができるようになります。<br>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA,D の達成に寄与しています。<br><br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>授業中に実施する課題は、毎回解説をします。定期試験は定期試験後に要点と解説をします.<br><br>■教科書<br>「チャート式シリーズ 新物理」 数研出版<br>(問題集) 「リード α 物理基礎・物理」 数研出版<br><br>■参考文献<br>「フォトサイエンス 物理図録」 数研出版<br><br>■関連科目 物理 2b・3a・3b, 応用物理 a・b<br><br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式<br>試験(100%)で評価します.<br>最終成績:2 回の定期試験を平均して評価します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上 90 点未満「優」GP「3」、70 点以上 80 点未満「良」GP「2」、60 点以上 70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br><br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>グーグルクラスルームの予習内容および課題に取り組み期日までに提出してください。<br>10 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所 本館2階 入試部<br><br>■授業評価アンケート実施方法<br>10 月に Web にてアンケートを実施します。<br><br>■メールアドレス kawakami@ktc.ac.jp<br><br>■オフィスアワー 金曜日の 12 時 15 分～13 時 00 分 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **情報処理　Ｉａ**<br>英文名: Information Processing I a | | | |
| 担当者: 川上申之介, 武田正幸, 栗木直美,<br>山下浩昭, 杉谷誠弥, 久保覚司 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 教育研究機関、企業等で情報処理実務を担当. | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 前期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

**授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)**

「授業タイトル」

第 1週　ガイダンス(ﾛｸﾞｲﾝ方法、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの使用方法の説明)
[予習内容]:(60 分)コンピュータの基本的な使い方について調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し, 理解すること
第 2週　ネットの有効利用について
[予習内容]:(60 分)情報処理の社会における必要性を調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第 3週　問題演習 (ソフトウェアの利用 Ｉ 、メールの作成、送信) (1)
[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容を復習しておくこと
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第 4週　問題演習 (ソフトウェアの利用 Ｉ 、メールの受信、整理) (2)
[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容を復習しておくこと
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第 5週　ソフトウェアの利用 I (文書処理ｿﾌﾄｳｪｱ google docment) (1)
[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容を復習しておくこと
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第 6週　ソフトウェアの利用 I (文書処理ｿﾌﾄｳｪｱ google docment) (2)
[予習内容]:(60 分)文書処理ソフトウェアについて調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第 7週　中間試験、答案返却、解説
[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容を復習しておくこと
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第 8週　ソフトウェアの利用 I (文書処理ｿﾌﾄｳｪｱ MS word) (3)
[予習内容]:(60 分) word のしくみについて調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第 9週　ソフトウェアの利用 I (文書処理ｿﾌﾄｳｪｱ MS word) (4)
[予習内容]:(60 分) word の機能について調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第10週　ソフトウェアの利用 I (文書処理ｿﾌﾄｳｪｱ MS word) (5)
[予習内容]:(60 分) word の送受信方法について調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解ことする
第11週　数値の扱いと表現:10 進数,2 進数(1)
[予習内容]:(60 分) 2 進数の計算について調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第12週　数値の扱いと表現:10 進数,2 進数(2)
[予習内容]:(60 分)2 進数の計算について調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第13週　数値の扱いと表現:10 進数,2 進数(3)
[予習内容]:(60 分)2 進数の小数について調べること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第14週　数値の扱いと表現:問題演習
[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容について復習すること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
第15週　期末試験、答案返却、解説
[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容について復習すること
[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること
定期試験
(試験時間 50)

**授　業　概　要**

■授業概要・方法等
社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解するとともに、情報技術の基礎的な知識と技術を習得します。教育研究機関や企業での実務経験をもとに、上記の内容について解説します. 授業の内容をより詳しく解説するための解説資料を必要に応じて配布します.

■使用言語　日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (A-G2) 文書処理ソフトとメールがおおよそ使いこなせる。
2. (A-G2)コンピュータのしくみや基数変換を学ぶ。
ことができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。
■教科書　指定しません。適宜プリント等資料を配布します。
■参考文献　なし
■関連科目　情報処理 II、数学

■成績評価方法および基準
種類: 定期試験(2 回)、方式: 記述式
定期考査成績: 定期試験 (100%) で評価します。
最終成績: 定期考査成績の平均とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上 90 点未満「優」GP「3」、70 点以上 80 点未満「良」GP「2」、60 点以上 70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
グーグルクラスルームの予習内容および課題に取り組み期日までに提出してください。授業内容は各自ノートに書き写すこと。調べた上での疑問等は、担当教員に質問の上、解決すること。
10 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
川上 申之介:　本館 2 階 入試部
武田 正幸、栗木 直美、山下 浩昭、杉谷誠弥、久保 覚司 :
3 号館 2 階 情報処理教育研究センター管理室
■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。
■メールアドレス
川上 kawakami@ktc.ac.jp,　武田 mtakeda@ktc.ac.jp
栗木,kuriki@ktc.ac.jp ,　山下 hiroaki_yamashita@ktc.ac.jp
杉谷 s-sugitani@ktc.ac.jp,　久保 s-kubo@ktc.ac.jp
■オフィスアワー
川上 申之介: 金曜日(12:15-13:00), 武田 正幸: 月曜日(12:15-13:00)
栗木 直美: 木曜日(12:15-13:00), 山下 浩昭: 授業実施日
(12:15-13:00), 杉谷 誠弥: 火曜日、水曜日、木曜日(12:15-13:00)
久保 覚司: 授業実施日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名: **情報処理　Ｉｂ**<br>英文名: Information Processing I b | | | |
| 担当者: 川上申之介, 武田正幸, 栗木直美,<br>山下浩昭, 杉谷誠弥, 久保覚司 | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 教育研究機関、企業等で情報処理実務を担当. | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 後期 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 授業形態: 講義 | 単位の種別: 履修 |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授　業　概　要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>第 1週　数値の扱いと表現:10 進数,2 進数,8 進数 (1)<br>[予習内容]:(60 分)8 進数について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 2週　数値の扱いと表現:10 進数,2 進数,16 進数 (2)<br>[予習内容]:(60 分)16 進数について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 3週　数値の扱いと表現:10 進数,2 進数,8 進数,16 進数 (3)<br>[予習内容]:(60 分)基数変換について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 4 週　数値の扱いと表現:10 進数,2 進数,8 進数,16 進数 (4)<br>[予習内容]:(60 分)計算方法について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 5 週　ソフトウェアの利用 II (表計算ｿﾌﾄｳｪｱ google spreadsheet) (1)<br>[予習内容]:(60 分)セル編集、合計・平均の計算について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 6 週　ソフトウェアの利用 II (表計算ｿﾌﾄｳｪｱ google spreadsheet) (2)<br>[予習内容]:(60 分) 相対参照・絶対参照を調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 7 週　中間試験、答案返却、解説<br>[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容を復習しておくこと<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 8週　ソフトウェアの利用 II (表計算ｿﾌﾄｳｪｱ excel) (3)<br>[予習内容]:(60 分)集計表等の作成について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第 9週　ソフトウェアの利用 II (表計算ｿﾌﾄｳｪｱ excel) (4)<br>[予習内容]:(60 分)数式を調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第10週　ソフトウェアの利用 II (表計算ｿﾌﾄｳｪｱ excel) (5)<br>[予習内容]:(60 分)数式を調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第11週　ソフトウェアの利用 II (表計算ｿﾌﾄｳｪｱ excel) (6)<br>[予習内容]:(60 分)表作成について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第12週　コンピュータの歴史 : 利用形態、ディジタル化<br>[予習内容]:(60 分)コンピュータの歴史について調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第13週　情報化の進展と産業社会、情報のモラルと管理<br>[予習内容]:(60 分)情報のモラルについて調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第14週　情報の収集 ・ 活用とﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ、ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱの概要<br>[予習内容]:(60 分)マルチメディアについて調べること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>第15週　期末試験、答案返却、解説<br>[予習内容]:(60 分)これまでの授業内容について復習すること<br>[復習内容]:(30 分)授業内容を復習し、理解すること<br>定期試験<br>(試験時間 50) | ■授業概要・方法等<br>社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解するとともに、情報技術の基礎的な知識と技術を習得します。教育研究機関や企業での実務経験をもとに、上記の内容について解説します. 授業の内容をより詳しく解説するための解説資料を必要に応じて配布します.<br><br>■使用言語　日本語<br><br>■学習・教育目標および到達目標<br>受講者は、この授業を履修することによって、<br>1. (A-G2) 表計算ソフトとプレゼンテーションソフトがおおよそ使いこなせる。<br>2. (A-G2)コンピュータの発展と歴史的な経緯を理解しながら、利用形態を学ぶ。<br>ことができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。<br><br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。<br>■教科書　指定しません。適宜プリント等資料を配布します。<br>■参考文献　なし<br>■関連科目　情報処理 II、数学<br><br>■成績評価方法および基準<br>種類: 定期試験(2 回)、方式: 記述式<br>定期考査成績: 定期試験 (100%) で評価します。<br>最終成績: 定期考査成績の平均とします。<br>90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上 90 点未満「優」GP「3」、70 点以上 80 点未満「良」GP「2」、60 点以上 70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。<br><br>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)<br>グーグルクラスルームの予習内容および課題に取り組み期日までに提出してください。授業内容は各自ノートに書き写すこと。調べた上での疑問等は、担当教員に質問の上、解決すること。<br>10 月に学修時間に関する調査を実施します。<br>■教員所在場所<br>川上 申之介:　本館 2 階 入試部<br>武田 正幸、栗木 直美、山下 浩昭、杉谷誠弥、久保 覚司 :<br>3 号館 2 階 情報処理教育研究センター管理室<br>■授業評価アンケート実施方法<br>10 月に Web にてアンケートを実施します。<br>■メールアドレス<br>川上 kawakami@ktc.ac.jp,　武田 mtakeda@ktc.ac.jp<br>栗木,kuriki@ktc.ac.jp ,　山下 hiroaki_yamashita@ktc.ac.jp<br>杉谷 s-sugitani@ktc.ac.jp,　久保 s-kubo@ktc.ac.jp<br>■オフィスアワー<br>川上 申之介: 金曜日(12:15-13:00), 武田 正幸: 月曜日(12:15-13:00)<br>栗木 直美: 木曜日(12:15-13:00), 山下 浩昭: 授業実施日<br>(12:15-13:00), 杉谷 誠弥: 火曜日、水曜日、木曜日(12:15-13:00)<br>久保 覚司: 授業実施日 |

科目名: **工学実験・実習1**
英文名: Engineering Experiments and Practice 1

| | |
|---|---|
| 担当者: 右松 亨 天野克明 廣出寛一<br>田口善文 田中和幸 吉川 隆 九門五郎<br>武田正幸 八木雅美 近藤恵美 桑川栄一<br>八切敏郎 | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) |
| 実務経験の内容:該当なし | アクティブ・ラーニングの形態:実験実習<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング:プロジェクタの活用 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工学科: 総合システム | 学年: 1 | 開講期: 通年 | コース: |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 4 | 授業形態: 実験・実習 | 単位の種別: 履修 |

## 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」
第1週 ガイダンス

各班に別れてローテーションしながら実験を行います。
第 2 週～第 5 週・・・・・第 1 回～第 4 回実験
第 6 週・・・・・・・・・・・復習・補足授業
第 7 週～第 10 週・・・・第 5 回～第 8 回実験
第 11 週・・・・・・・・・・・復習・補足授業
第 12 週～第 15 週・・・第 9 回～第 12 回実験
第 16 週・・・・・・・・・・・復習・補足授業
第 17 週～第 20 週・・・・第 13 回～第 16 回実験
第 21 週・・・・・・・・・・・復習・補足授業
第 22 週～第 25 週・・・第 17 回～第 20 回実験
第 26 週・・・・・・・・・・・復習・補足授業
第 27 週～第 30 週・・・再実験・レポート指導

---実験テーマ---
◇機械系・・・・・・・・ 2 週・・・右松、天野、廣出
M1～4『旋盤の使用方法および旋盤を用いた簡単な製品の製作』
◇都市環境(土木系)・・・ 2週・・・田口
C1～4『①コンクリート実験、②建設材料実験』
◇都市環境(建築系)・・・ 2週・・・田中
A1～2『①建築デザイン、②造形デザイン』
◇電気電子系・・・・・・ 2週・・吉川、九門
E1～2『電子工作の基礎①～②』
◇制御情報系・・・・・・ 4週・・・武田、八木
I1～4『micro:bit を使ったプログラム演習』
◇製図・・・・・・・・・ 4週・・・近藤
H1～4『製図の基礎。手書き製図演習』
◇CAD・・・・・・・・・ 4週・・・桑川、八切
D1～4『JWCAD を用いた CAD 製図
①基本操作(作図と保存)、②家具の作図、 ③平面図の作図、
④文字・寸法の記入』

## 授 業 概 要

■授業概要・方法等
技術者をめざす高専の学生を対象とした工学系に関する基本的な実習・実験を行います。基本的な計測器の使い方、実験を進める手順を学び、結果に対する考察検討を行います。
■使用言語 日本語
■学習・教育目標および到達目標
講者は、この授業を履修することによって、
1. (A-G2)機械系、電気電子系、制御情報系、都市環境(土木系、建築系)などの工学の基本的な事項を, 実際に体験しながら学ぶと同時に, 実験科目への取組み方を習得する。
2. (A-G2)実験報告レポートの基本的な書き方・まとめ方を習得し、結果に対する考察を検討する習慣をつける。
3. (A-G2)各コースに共通的な CAD や製図についても実際に体験することによって基礎知識を習得する。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーAの達成に関与しています。
■試験・課題に対するフィードバック方法
提出したレポートは、毎回確認および指導を行います。
■教科書 各担当教員自作の資料
■参考文献 なし
■関連科目 物理、数学、工学一般
■成績評価方法および基準
各自が実験のレポートまたは作品を提出しなければなりません。実習の最後に小テストを課すテーマもあります。成績は各実験成績の平均とします。
「90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。」
■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
1.各学生はローテーションしながら実験を進めていくので、実験日の前には、次の実験の概要を把握し、レポートの下書きなどをしておく。
2.実験後は、各実験テーマで指示された課題やレポート作成に取り組む。
3.わからない場合は、各実験の授業時間中またはオフィスアワーを利用して質問してください。
2 月に学修時間時間に関する調査を実施します。
■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。
■教員所在場所/メールアドレス/オフィスアワー
右松、天野、廣出:4 号館 1 階技術員控室/migimatsu@ktc.ac.jp/月曜日 9 限、田口:本館 2 階企画広報部/taguchi@ktc.ac.jp/月曜日 9 限、
田中:本館 2 階地域連携テクノセンタ/tanaka@ktc.ac.jp/月曜日 12:15～13:00
吉川:本館 2 階寮務部/yoshikawa@ktc.ac.jp/火曜日 12:15～13:00
九門:3 号館1階電気電子系教員室/kumon@ktc.ac.jp/月曜日 12:15～13:00
武田:3 号館 2 階情報処理教育センタ管理室/mtakeda@ktc.ac.jp/月曜日 12:15～13:00
八木:2 号館 2 階共通教育科/m-yagi@ktc.ac.jp/月曜日 12:15～13:00
近藤:図書館 2 階都市環境教員室/kondo@ktc.ac.jp/金曜日 12:15～13:00
桑川:3 号館 2 階情報処理教育センタ管理室/kuwakawa@ktc.ac.jp/水曜日
八切:3 号館1階電気電子系教員室/yagiri@ktc.ac.jp/月曜日 12:15～13:00

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 科目名: **特別活動**<br>英文名: specials activities | | | | |
| 担当者: 1～3 年生の担任教員 | | | 開講年度: 2021 年度(令和 3 年度) | |
| 実務経験の内容: 別紙 | | | アクティブ・ラーニングの形態: グループワーク等<br>ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 1,2,3 | 開講期:通年 | 授業形態:演習、講義 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1,1,1・・・1 年(30)、2 年(30)、3 年(30)=計 90 単位時間以上実施する。 | | | |

| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | 授 業 概 要 |
|---|---|
| 「授業タイトル」<br>(第 1 週～第 7 週)<br>・目標を計画する。(短期、中期(=今年度)、長期(卒業するまで) ・個人面談<br>・全校集会 (前年度後期:クラブ・課外・ボランティア活動表彰)<br>・新入生オリエンテーション(1 年生)<br>・コース選択のための説明会 ・・・(1 年生) (2 年生)<br>・自校学習<br>・個人面談 ・資格の紹介<br>・交通安全教育・情報ネチケット教育<br>・主権者教育(模擬選挙・投票など) ×1 回 ・・・(2 年生)<br>・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意)<br>・自校学習(課題提出)<br>---------- [前期中間]<br>(第 8 週～第 15 週)<br>・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個別面談<br>・球技大会・体育祭(近大高専No1 グランプリ:(KK1-GP)の準備・出場メンバー割り当ての指導<br>・自校学習<br>・キャリア教育・進路ガイダンス<br>・全校集会(選手壮行会)<br>・長期休み前注意指導等<br>・個別面談<br>・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意)<br>・自校学習(課題提出)<br>---------- [前期期末]<br>(第 16 週～第 22 週)<br>・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個人面談<br>・学修時間の実態と学修行動の把握に関するアンケート。授業科目毎のアンケート。<br>・全校集会(前期:クラブ・課外・ボランティア活動等表彰)<br>・自校学習<br>・金曜市民公開講座×1 回 ・・・(1 年生) (3年生)<br>・文化祭(高専名張祭)におけるクラス催し物決定についての指導<br>・コース選択のための説明会 ・・・(1 年生) (2 年生)<br>・個人面談<br>・交通安全教育・情報ネチケット教育<br>・防災避難訓練<br>・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意)<br>・長期休み前注意指導等<br>・自校学習(課題提出)<br>----------[後期中間]<br>(第 23 週～第 30 週)<br>・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個人面談<br>・研修旅行について説明会×2 回 ・・・(2 年生)<br>・自校学習<br>・個人面談<br>・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意)<br>・自校学習(課題提出)<br>・各コースの研究ポスター発表を見学(@高専名張祭)<br>----------[後期期末]<br>・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個人面談<br>・キャリア教育(学内企業セミナー)<br>・学修時間の実態と学修行動の把握に関するアンケート。授業科目毎のアンケート。<br>定期試験・・・定期試験は実施しません。 | ■授業概要・方法、学習・教育目標および到達目標等<br>特別活動は、学級活動・ホームルーム活動、学生会活動、学校行事などを行なう。<br>具体的には、<br>・自校学習を通じて、「実学教育」と「人格の陶冶」という学園の教育理念を学ぶ。<br>・学生個人個人については、これまでの義務教育で受動的だった学習を各学生に目標を立てさせて、その状況を把握し、次の目標へとスパイラルアップさせていき、自主的・能動的な学習へ移行を進める。<br>・全体指導や個別面談補通じて、学習へのモチベーションを上げさせる。<br>・ホームルーム活動を通じて、人としての守るべきルールを理解させていく。<br>・自校学習・市民公開講座を通じて、広い視野で、色々な分野のことを学習する。<br>・球技大会・体育祭(KK1-GP)や、文化祭(高専名張祭)等の学生会活動を通じて、クラスで協力して実施し、よりよい人間関係を築き、協調性を養うことを学ぶ。<br>■使用言語 日本語<br>■試験・課題に対するフィードバック方法<br>試験は実施しない<br>■教科書<br>・自校学習については、近畿大学制作の DVD や下記の2冊の書籍など<br>・「我ｶﾞ生、難行苦行ﾅﾚﾄﾞﾓ我ｶﾞ志、近畿大学ﾄﾅﾚﾘ」炎の人生 著者:田島一郎 発行・編集 世耕弘一先生建学史料室<br>・「世耕弘一とその時代」 著者:荒木康彦 近畿大学附属高等学校特別推薦入学試験の受験選考方法検討委員会<br>・金曜講座については、講演者自作の配布プリント<br>■参考文献<br>特になし<br>■関連科目<br>■成績評価方法および基準<br>合否で判定する。欠席が年間 30 単位時間中 6 単位時間を超えて欠席した場合は、不認定となる。 |